

各 位

株式会社アルプス技研  
IR・広報室

平成 18 年 6 月中間期(平成 18 年 1 月 1 日～平成 18 年 6 月 30 日)財務・業績の概況について

株式会社アルプス技研の平成 18 年 6 月中間期(平成 18 年 1 月 1 日～平成 18 年 6 月 30 日)財務・業績の概況のうち、業績の概況につきまして下記ご説明申し上げます。

## 【 】連結業績

## (1) 連結業績の主要数値

売 上 高	104億4,100万円	(前年同期比 5億700万円増)	5.1%増
営 業 利 益	4億8,200 "	( 同 1億4,000万円減)	22.5%減
経 常 利 益	4億7,000 "	( 同 1億円減)	17.5%減
中間(当期)純利益	7,400 "	( 同 2億3,900万円減)	76.3%減

## (2) 連結事業のセグメント別売上

アウトソーシングサービス事業	100億8,100万円	(前年同期比 7億8,000万円増)	8.4%増
そ の 他 事 業	3億6,000 "	( 同 2億7,200万円減)	43.0%減

当中間期における連結売上高は、派遣業務を主体とする「アウトソーシングサービス事業」の高い成長によって前年同期比5.1%増の成長を遂げましたが、業務系ソフト開発の子会社の赤字並びに関係会社向けの貸倒引当金の計上等により経常利益は前年同期比 1億円、17.5%の減益となりました。また当期から適用されました減損会計制度により、特別損失として減損損失1億9,300万円(アルプス技研ならびにアルプスビジネスサービス)を計上しましたので、中間(当期)純利益は同 2億3,900万円、76.3%の減益となりました。

第1四半期に発生した業務系ソフト子会社の赤字は前期に受注した案件の修復に要した経費に起因する一過性のものであり、下期(7月～12月)については黒字転換を見込んでおります。

## 【 】個別(アルプス技研)業績

## (1) 個別(アルプス技研)業績の主要数値

売 上 高	88億8,100万円	(前年同期比 5億9,900万円増)	7.2%増
営 業 利 益	5億800 "	( 同 4,000万円増)	8.7%増
経 常 利 益	5億6,000 "	( 同 5,300万円増)	10.3%増
中間(当期)純利益	2億300 "	( 同 9,400万円減)	31.5%減

## (2) 個別(アルプス技研)事業のセグメント別売上

アウトソーシングサービス事業	86億4,000万円	(前年同期比 8億2,400万円増)	10.5%増
そ の 他 事 業	2億4,000 "	( 同 2億2,500万円減)	48.3%減

個別業績につきましては、派遣業務を主体とした「アウトソーシングサービス事業」が依然好調で、個別売上高は前年同期比7.2%の増収となりました。

連結に記載のとおり、販管費に貸倒引当金を計上しましたが、営業利益、経常利益ともに増益を確保することができました。

一方減損会計制度による特別損失1億7,900万円(蓼科テクノパーク)を計上しましたので、中間(当期)純利益は減益となりました。

株式会社 アルプス技研

## (3) アウトソーシングサービス事業売上上位 100 社による主要業種別売上高構成(構成比大順)

	売上高	前年同期比	構成比	[前年同期]
自動車関連(含む部品、ナビ・オーディオ)	20億7,700万円	+6.6%	30.3%	[30.5%]
精密機器	18億1,000 "	+22.7%	26.4%	[23.1%]
家電	8億5,000 "	1.2%	12.4%	[13.5%]
半導体関連(含む製造装置)	4億8,600 "	+53.2%	7.1%	[5.0%]
ソフト開発	3億6,300 "	19.9%	5.3%	[7.0%]
携帯電話	2億7,300 "	+12.5%	4.0%	[3.8%]
通信関係(機器及びシステム)	2億2,600 "	+13.6%	3.3%	[3.1%]
上記以外(航空、機械、電池他)	7億6,400 "	14.7%	11.2%	[14.0%]
100社合計	68億4,900 "	+7.2%	100.0%	[100.0%]

## (4) 派遣稼働率、派遣稼働工数、派遣単価

	06年中間期	05年中間期
派遣稼働率	94.0%(除く新卒97.3%)	93.2%
派遣稼働工数	181.1H/月	180.6H/月
派遣単価	3,449円/H(除く新卒3,460円)	3,265円/H

アウトソーシングサービス事業売上高では、デジタルカメラ等の開発による精密機器分野の成長が顕著ですが、家電メーカーに対するマイナス成長は、個別の取引先による業績の影響を受けております。

派遣稼働率や工数、単価は、期初に予想した通りに推移しています。なお、4月入社の新卒技術者275名は、6月に80%が稼働いたしました。(前年同月の稼働は71.4%)

## 【】第3四半期以降の当社活動ならびに平成18年12月期業績予想および配当について

今後の経済環境は、原油価格の高騰や米国経済の減速等の不安材料はありますが、現時点で当社を取巻く環境変化を業績動向に取り入れるべきファクターは見当たりません。

アルプス技研の業績動向につきましては、製造業からの技術者要請が依然強く、人数的には要請に対応しきれない状況が続いており、想定どおり順調に推移することが見込まれます。引き続きお客様からの付加価値の高い技術要請にお応えすべく技術者のスキルアップを目指してまいります。

グループ会社の業績動向につきましては、グループ戦略を見直し、連結業績の抜本的な改善に注力していきます。

以上の背景のもと、平成18年12月期通期(平成18年1月1日～平成18年12月31日)の当社連結及び個別業績は以下のとおりと予想しております。

## 【連結業績】

売上高	218億円	(前年同期比 12億6,400万円増、6.1%増)
営業利益	16億5,000万円	(同 6,100万円増、3.8%増)
経常利益	16億1,000万円	(同 900万円増、0.6%増)
当期純利益	7億4,000万円	(同 6,100万円減、7.7%減)

## 【個別業績】

売上高	184億円	(前年同期比 11億2,300万円増、6.5%増)
営業利益	15億5,000万円	(同 1億8,600万円増、13.6%増)
経常利益	16億円	(同 1億8,200万円増、12.8%増)
当期純利益	7億円	(同 1,600万円増、2.2%増)

なお平成18年12月期の1株当り配当については、配当基本方針通りに変わりありません。

以上